

「火の用心だより」

第131号(令和8年2月号)

発行:札幌市消防局予防部予防課

給排気筒が雪に埋まっていますか？

札幌市で記録的な降雪がありました。大雪は歩道や道路の幅を狭くし、交通障害を発生させたりするほか、ストーブの給排気筒を埋めてしまうこともありますので、注意が必要です。

給排気筒が雪で埋まるとどうなるの？

給排気筒が雪に埋もれた状態で使用すると、「**排気ガス**」が室内に流入したり、「**不完全燃焼**」を起こす原因となり、死亡事故につながる危険性があります。

多くの場合は、安全装置等の作動により、ストーブが停止するので、大きな事故につながるおそれは少ないと考えられますが、この時期にストーブが停止してしまうと、本当に困りますよね。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒とは？

ストーブやボイラーが不完全燃焼を起こすと一酸化炭素が発生します。一酸化炭素を含んだ空気を吸いこむと「一酸化炭素中毒」となり大変危険です。

一酸化炭素は無色・無臭の気体で、少量吸い込むだけでも頭痛・吐き気がみられ、さらに深刻な症状になると意識や呼吸の障害などを伴い、死に至ることがあるため、十分な注意が必要です。具合が悪くなった場合は、すぐに119番に通報してください。

それは心配…どうしたらいいの？

- 給排気筒の周辺は、こまめに除雪する！
- 給排気筒を定期的に点検・確認する！

☞ 積雪だけでなく、鳥が巣をつくっていることなどもあります。



※このような場合は、給排気筒周囲の雪を取り除きましょう

ストーブ・ボイラーに異常がある場合は、点検業者等に相談してください！

衣服に燃え移つてしまったら！！



調理中など自分が着ている衣服に火が燃え移る事案も発生しています。そうした場合は絶対に慌てて走ってはいけません。

消火する手段がない場合は、その場に止まり(ストップ)、倒れて(ドロップ)、燃えている部分を地面に押し付けて転がり(ロール)、窒息消火しましょう！

※窒息消火…酸素供給を絶つことで消火する方法です。

【実際の着衣に着火した状況】

ストップ、ドロップ&ロールを覚えましょう



電気火災に要注意！

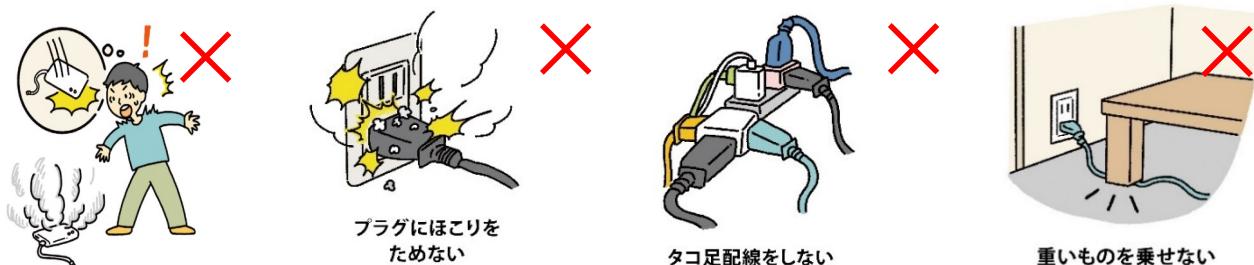
令和7年中に発生した火災総件数421件のうち電気火災は93件で、**最も多い火災原因**となっております。その中でも電気火災の原因上位は次のとおりです。

電気は私たちの生活に欠かせないものですので、注意して使用しましょう。

1位：「電気機器（充電式電池、電子レンジ等）36件」

※ 36件のうち、リチウムイオン電池からの出火が計28件発生しています！

2位：「電気配線類（器具付きコード、屋内配線等）30件」



市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ④ 防炎品を使用しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPP_RO